

# 本 会 会 告

## 第3回年会

第3回年会を下記の要領で開催します。プログラムは、本誌前頁に掲載しています。会員各位のご参加を期待しています。

期日 1990年4月26日(木)、27日(金)、  
28日(土)

場所 大阪科学技術センター  
(大阪市西区靱本町1-8-4)

実行委員長 植木龍夫(阪大・基礎工)

## 4. 新しいEXAFSの試み

時間分解EXAFS 松下 正(高エ研)  
X線ラマン散乱によるEXAFS

宇田川康夫(分子研)

光音響EXAFS 升島 努(広大理)

## 5. 実験室系のEXAFS 田路 和幸(分子研)

## 6. 電子線を用いたEXAFS(REXELFS)

宇佐美誠二(横国大工)

## 7. パネルディスカッション

「EXAFSの将来の動向」

司会 太田俊明(広大理)

パネリスト 講師全員

## 放射光シンポジウム

### 「EXAFSでどこまで分かるか」

1990年1月23日(火)、東大総合図書館で開催した。参加者は、定員の100名余。但し、多数の参加希望者をお断りしなければならなかった。(予稿集¥2,000で販売しています。)プログラムは下記の通り。

### プログラム

1. 挨拶 黒田 晴雄(東大理)
2. EXAFSの理論 石井 忠男(岡大工)
3. 放射光を用いたEXAFS
  - PFの装置の現状 野村 昌治(高エ研)
  - 触媒のEXAFS 朝倉 清高(東大理)
  - 生体・溶液のEXAFS  
山口 敏男(福岡大理)
  - アモルファス物質のEXAFS  
前田 裕宣(岡大理)
  - 半導体のEXAFS 大柳 宏之(電総研)
  - 表面のEXAFS 横山 利彦(広大理)

## 第3回 編集委員会

1989年12月2日(土)、東大物性研で開催した。第2巻第4号の評価、および第3巻第1号以降の内容について検討した。

とくに、将来計画に関する会員からの投稿記事を「読者投稿欄」で扱い、誌上での議論を通して、情報を共有化していく事とした。

## 第1回起草委員会(将来計画特別委員会)

1989年12月7日(木)、高エ研放射光施設で開催した。大型放射光施設(科技庁、および高エ研計画)に対する本学会の基本姿勢を明確にする為の起草案を検討。

## 第2回起草委員会(将来計画特別委員会)

1990年1月5日(金)、高エ研放射光施設で開

催した。第1回委員会に引き続いて、起草案を検討。

### 第11回定例幹事会

1990年1月20日(土)、学士会分館で開催した。会員異動、将来計画特別委員会「起草委員会」作業経過、各幹事報告等について討議した。

### 第3回起草委員会(将来計画特別委員会)

1990年1月22日(月)、高エ研放射光施設で開催した。前記起草案を「次世代大型放射光施設計画に関する調査報告書」とし、その概要について討議した。

### 第1回渉外委員会

1990年1月26日(金)、筑波大で開催した。日本学術会議の学術団体指定(特許庁は既に許可済み)について、および「学術的会合等の共催・後援・協賛等に関する内規」について等、討議した。

### 第2回将来計画特別委員会

1990年2月3日(土)、東大工学部で開催した。

「次世代大型放射光施設計画に関する調査報告書」について、また、各中型放射光施設計画の現状報告を受け、討議した。

会員増加にご協力を



本会では、会員の増加運動を積極的に行なっております。ご周辺の方で未入会の方がおられましたら、是非とも入会をご勧誘下さいますようお願いいたします。

入会申込みは本誌綴じ込みの「入会申込書」をご利用下さい。

その他、お問い合わせは下記まで…。

---

〒112 東京都文京区小石川2-3-4 川田ビル アイオニクス(株)内  
日本放射光学会事務局

TEL 03-812-0920/FAX 03-812-3997

---